



No. 2770
2020年2月19日
発行責任者 小椋山広幸
編集責任者 鈴木 久幸

奮闘する仲間の闘いに学ぶ

春闘勝利活動家交流集会特集

国労会館地方労働講座

地方本部は1月11日、仙台市内ホテル法華クラブにおいて「2020年春闘勝利活動家交流集会」を開催した。会議には各支部と分会代表が参加し、賃金闘争をはじめ労働条件改善や組織問題など活発な意見交換を行い、今年一年の闘う方向性を全体で確認した。

安倍暴走政権 阻止の闘い

集会の前段に一般財団法人国労会館仙台地方本部主催の地方労働講座が開かれ、渡辺信之氏（国労東日本本部副委員長）から、「野党と市民との連携で安倍暴走政権を終わらせ、20春闘では国民と労働者の大幅賃上げと生活改善を勝ち取る」と題した講演が行われた。

- トランプ大統領がイランの革命防衛隊司令官を空爆によって殺害。中東の緊張を極度に高めた。「新たな湾岸戦争」に繋がる危機。
- アメリカとイラン緊張激化。トランプ政権が、一方的に「核合意」から離脱。
- アメリカを中心とした同盟国・イラン間の武力衝突の危機。国連・各国による外交的解決の道以外ない。
- 安倍首相は、トランプ大統領の呼びかけの「有志連合」に加担し中東沖に自衛隊の派兵決めた。
- イラクがイラン国内の米



講演する渡辺副委員長

軍基地攻撃。トランプ大統領「軍事力は行使はしない」経済制裁を強化した。

● 1月20日開会される通常国会では「桜を見る会」「カジノ汚職」「中東自衛隊派兵」「憲法改正」「年金改悪」「消費税増税」など国民の生命・暮らしを守る闘いが全面対決となる。

● 働き方改革による働きがい向上の見直し。介護・育児関連休暇、保存休暇をエルダー先へ引き継ぎ、短日数勤務の整備など改善を求めて行く。ジョブローテーションの実施。10年たつたら移動。職場の中で競争が激化。車両・営業・保線・電気関係全てに「変革2027」の提案がされ「見直し交渉」「見直し要求」に取り組んでいる。

● 貨物職場。2019年度中間決算過去最高の経常利益47億円を達成。しかし、社員に対する扱いは非常に厳しい。貨物の経営の問題は全貨協として団体交渉を行ってきた。また、新人事賃金制度は、128項目、

● 台風19号により長野新幹線車両センターが水没。新幹線12両10編成と基地設備の被害総額は778億円＋α。コストや収入について社員に意識付けをしてきていることは明らか。今までのような好景気ではないことを社員、グループ会社社員に宣伝。締め付けは間違いないとやってくる。台風被害による損害や減収を受けて、今年のJR東の1月号の会長と社長の新年の挨拶は、「こうしたピンチがあるから変革2027で頑張りましょう」と言っている。

● 変革2027を進めるのは社員の皆さんなんですと言っている。

● 働き方改革による働きがい向上の見直し。介護・育児関連休暇、保存休暇をエルダー先へ引き継ぎ、短日数勤務の整備など改善を求めて行く。ジョブローテーションの実施。10年たつたら移動。職場の中で競争が激化。車両・営業・保線・電気関係全てに「変革2027」の提案がされ「見直し交渉」「見直し要求」に取り組んでいる。

22回、60時間を超える団体交渉を行い実施を4月から10月に延期させた。この闘いを通し6名の青年運転士が国労に加入した。

● 社員代表者選挙。昨年は、JR内で11の職場、グループ会社では16の職場で国労が代表者になった。ただ選挙に出るのではなく労働組合として職場の問題の改善、取り組み姿勢を見せることが出来た。また、創意工夫以上の票を獲得している。

● 春闘について。国労の要求は、第190回拡大中央委員会でも春闘方針が決定される。JR各社で格差がある。四国・九州・北海道は18年ベアゼロ。この実態を改善する取り組みが必要。JR東日本では7割が組合未加入となり、賃上げ要求もない。1円でも上げてもらいたいと誰もが思っている。若い人たちが思っている要求・不満を集約しながら、春闘・組合の必要性を訴えて組織拡大を取り組んでいくと述べ講演を締めくくった。

● 春闘について。国労の要求は、第190回拡大中央委員会でも春闘方針が決定される。JR各社で格差がある。四国・九州・北海道は18年ベアゼロ。この実態を改善する取り組みが必要。JR東日本では7割が組合未加入となり、賃上げ要求もない。1円でも上げてもらいたいと誰もが思っている。若い人たちが思っている要求・不満を集約しながら、春闘・組合の必要性を訴えて組織拡大を取り組んでいくと述べ講演を締めくくった。

引き続き、小椋山執行委員長が新年のあいさつと向こう一年間の闘う決意を述べ、活動家交流集会に入った。原子書記から20春闘までのスケジュールおよび取り組みについて10項目について提起がされた。また、武田組織部長より組織対策

● 台風19号により長野新幹線車両センターが水没。新幹線12両10編成と基地設備の被害総額は778億円＋α。コストや収入について社員に意識付けをしてきていることは明らか。今までのような好景気ではないことを社員、グループ会社社員に宣伝。締め付けは間違いないとやってくる。台風被害による損害や減収を受けて、今年のJR東の1月号の会長と社長の新年の挨拶は、「こうしたピンチがあるから変革2027で頑張りましょう」と言っている。

● 変革2027を進めるのは社員の皆さんなんですと言っている。

● 働き方改革による働きがい向上の見直し。介護・育児関連休暇、保存休暇をエルダー先へ引き継ぎ、短日数勤務の整備など改善を求めて行く。ジョブローテーションの実施。10年たつたら移動。職場の中で競争が激化。車両・営業・保線・電気関係全てに「変革2027」の提案がされ「見直し交渉」「見直し要求」に取り組んでいる。

会議、代表者選挙、新規採用者獲得の取り組みについて提起を受けた後、地方本部内三支部からの報告と全体討論が行われ、12人の仲間が活発に意見を述べた。

● 台風19号により長野新幹線車両センターが水没。新幹線12両10編成と基地設備の被害総額は778億円＋α。コストや収入について社員に意識付けをしてきていることは明らか。今までのような好景気ではないことを社員、グループ会社社員に宣伝。締め付けは間違いないとやってくる。台風被害による損害や減収を受けて、今年のJR東の1月号の会長と社長の新年の挨拶は、「こうしたピンチがあるから変革2027で頑張りましょう」と言っている。

● 変革2027を進めるのは社員の皆さんなんですと言っている。

● 働き方改革による働きがい向上の見直し。介護・育児関連休暇、保存休暇をエルダー先へ引き継ぎ、短日数勤務の整備など改善を求めて行く。ジョブローテーションの実施。10年たつたら移動。職場の中で競争が激化。車両・営業・保線・電気関係全てに「変革2027」の提案がされ「見直し交渉」「見直し要求」に取り組んでいる。

エルダー組合員が多く、プロパー社員の票を取り付け、信任投票に持ち込んだ結果、過半数を大きく上回り国労エルダー組合員が社員代表となった。安全衛生委員にも国労組合員が選出され、インパクトの振動や騒音、フォークリフトが縦横に走り回る危険な職場の問題を安全衛生委員会で改善させた。グループ会社の労働条件を改善させプロパー社員の組織化が重要。

● 台風19号により長野新幹線車両センターが水没。新幹線12両10編成と基地設備の被害総額は778億円＋α。コストや収入について社員に意識付けをしてきていることは明らか。今までのような好景気ではないことを社員、グループ会社社員に宣伝。締め付けは間違いないとやってくる。台風被害による損害や減収を受けて、今年のJR東の1月号の会長と社長の新年の挨拶は、「こうしたピンチがあるから変革2027で頑張りましょう」と言っている。

● 変革2027を進めるのは社員の皆さんなんですと言っている。

● 働き方改革による働きがい向上の見直し。介護・育児関連休暇、保存休暇をエルダー先へ引き継ぎ、短日数勤務の整備など改善を求めて行く。ジョブローテーションの実施。10年たつたら移動。職場の中で競争が激化。車両・営業・保線・電気関係全てに「変革2027」の提案がされ「見直し交渉」「見直し要求」に取り組んでいる。

▼3月退職の組合員に対して、昨年12月にエルダー提示がされた。しかも本人の希望した職種・勤務地ではない。会社に説明を求めギリギリまで闘う。

郡山工場支部 橋本委員長

▼12月定期支部大会を開催し執行体制を確立したが、現職9名、エルダー20名と組合員が減少し厳しい状況。

▼TRAIN SUITE四季島が入場した。厳戒体制の中で通門が制限され通勤が不便になった。また、検修の際、会社は「触るな・キズを付けない」との説明。どうやって検修するのか問題が出ている。

▼2名の組合員に郡山JRTMに提示があった。2年前、あとから提示された組合員が仙台だったこともあり、組合員には不安がある。この様なことが無いよう支部として闘って行く。

▼郡工支部には、貨物分会があり、格差是正を訴えてきた。自分自身がエルダーとなって賃金・手当が半分になった。改めて貨物の仲間の大変さ、苦しみを理解した。格差是正を客貨一体で闘う。

山形県支部 土田執行委員

▼ジョブローテーション。運転士は大変不安になってきている。各種委員会参加は自分の時間。ジョブローテーションの導入で労働者間の競争が始まっている。

▼国労組合員が一人のため掲示板がない。若い仲間、

他労組には職場の問題を話しながら国労の運動を広めていく。

▼冬季団交。駅・運転区・保線・信通で要求を集約。団交の会社側交渉員が毎年代わり引継ぎがされず本題に入れない。今後、冬季の集約集会を開き合わせて春闘の要求作りを行っていく。

質疑及び全体討論

◆組織強化・拡大。貨物労の35歳組合員が国労の取り組みに共感。昨年亡くなったHさんを中心に「国労に来ないか」と関わりを持ってきた。加入用紙を渡し加入する意思確認までした。しかし、数日後、貨物労から無視や冷たく扱われ、国労加入は見送りとなった。国労組合員が少ない中、加入した本人を守りきる難しさを経験した。今後も拡大に向け取り組んでいく。

◆貨物福島分会の組織拡大の取り組みについて、関東貨物協の大宮車両所、黒磯機関区で国労加入した方がいるのでオルグに来てもらい交流し問題の共有化を図る。旅費等の問題については地方本部にお願いしたい。

◆災害時、避難勧告が出された地域に通勤してこいという問題。新潟・福島豪雨の時、保線の仲間に対して現場確認の指示があったのを断った。

◆郡山駅で国労に加入した5名が次々と転勤させられ郡山駅に残ったのは1名だけになった。また、分会書記長に対し代表者選挙の危機感からなのか小野新町に配転してきた。組織破壊攻撃として考えて行く。

◆ワンマン運転に伴い無人駅の乗車証明書が導入される。有人駅の精算業務が増えた。リビットのプロパー社員

の低賃金実態。就業規則改正の意見書提出する中深夜手当が支給された。継続して改善を図る。

◆理不尽なエルダー提示に対し、檄紙・檄励文を頂きお礼を申し上げる。昨年11月、4人に提示があった。それぞれ、本体・BT・一建山形・遠藤建業。Y氏が提示された一建山形は、自宅から通勤出来ないし、しかも持病を抱えている。地方苦情処理委員会が却下された。中央苦情処理委員会でも差し戻しされなかった。

また、A氏は、P社でもG社でもない会社。悩んでいる仲間を一人にしない闘い、署名の取り組みを要請する。

◆20春闘一人一要求の取り組み、若手社員7名からもアンケート集約。エルダー職場では、エルダー社員意見交換会が出た意見も入れ要求書を作成した。

◆エルダー提示が退職の2週間前、持病があるにも係らず東北ロジ。また、3月退職者に対し12月に提示、本人希望を無視している。

◆TSSとの交渉窓口を早急に。

◆瀬峰駅から渡波駅に通勤

1時間以上かけ通勤。要員の見直しが必要。

◆災害時、運転見合わせ指令・管理駅から連絡や放送がない。駅社員がバス代行・乗務員救出要請を行っている。会社に改善を求める。

◆建築の病気の仲間に通勤出来ない勤務地にエルダー提示がされた。到底許すこととはできない。自分たちの問題として取り組む。

◆3月ダイヤ改正で常磐線が全面開通予定。中間駅は除染で線量は下がったが未だに7、8マイクロシーベルトの箇所もある。今後の会社対応を明確に。

◆宮城野運輸区では、台風19号で福島からの出勤を確認したところ自宅待機はないといわれ、仙台駅に着いた途端に自宅待機といわれた。翌日、計画運休のため自腹でレンタカーで帰宅。

また、白石電力メセでは休養室が冠水、2段ベットの上下でマスクを付け仮眠。車で出勤、メセ駐車場で冠水。会社へ補償するよう要請。

◆Y氏へ一建山形に提示、苦情処理委員会で新庄や米沢もあつたが身体を考慮したと言っている？同意出来ない条件の提示は「高年齢者雇用安定法」に抵触すると考える。専門家の意見聞きたい。

◆過半数代表者選挙。電子投票を行っている職場がある。人事課は「会社は電子投票を強制していない。民主的な方法で」と言っている。地方本部からの働きか

けをお願いする。

◆駅の無人化。渡波駅・前谷地駅が無人駅の噂。渡波駅は上りホームから下りホームへの横断を伴う危険な実態。会社は組合提案なしに進めている。提案するよう会社に求めて欲しい。

◆分会集会を年4回開催し闘う方針を決定。

◆賃上げ基本給の4%ではなく、若い人・年輩統一で一万一千円要求で良いのではないか。

◆火災の見舞金、この場を借りてお礼を申し上げる。

◆火事の関係でJR共済から300万円融資を受けられないでいる。契約社員期間中は退職金に加算されない問題。団交で交渉しているが会社は認めない。弁護士と相談して今後を決めたい。

◆過半数代表者選挙。関連会社でチラシ回覧で組合活動と会社紹介。

◆米沢信号メセでは、建屋が老朽化でトイレの異臭、水道管の異常の改善、トイレ・フロア清掃を現場の要

求で勝ち取る事が出来た。

◆メセエリア外の障害復旧にも対応させられた。ルールが守られていない。若手社員にも話ながら取り組みを強化する。

◆退職前年度の11月までの提示がルールだが、会社は約束ではないという。A氏にに対しP社、G社でもない関連会社へ提示がされた。目

の病気もあるもので産業医に相談して行く。また、Y氏は無呼吸吸症候群の病気を抱え、通勤も出来ない山形へ提示。分会でも議論を行い北部現業前のチラシ配布行動、支社前の街宣行動を分会全体で取り組んだ。今後、理不尽な提示許さない闘いを地方本部にも要請する。

◆米沢連合分会では昨年12月23日に集会・忘年会開催し団結を図ってきた。

◆米沢信号メセでは、建屋が老朽化でトイレの異臭、水道管の異常の改善、トイレ・フロア清掃を現場の要

するために休日出勤せざるを得ない実態。ジョブローテーション導入で若手社員

の不安の声、労働組合の意義や必要性を話してくる社員もいる。

◆エルダー出向先、TSSでは、短日数制度が導入されているが実施されていない。テクノでは、国労2名が短日数制勤務となった。

◆エルダーの基本給が低い、制度が変わり一時金制度が上がった。エルダー手当の改善を要請する。

◆只見線の管理駅が会津坂下駅から会津若松駅に変更され、会津宮下駅・会津川口駅・只見駅の3駅を交互に回る勤務となった。各駅の運転取り扱いが違うため在勤駅の指定を駅長、助役に求めてきた結果、改善された。

◆会津若松地区分会

◆米沢連合分会では昨年12月23日に集会・忘年会開催し団結を図ってきた。

◆米沢信号メセでは、建屋が老朽化でトイレの異臭、水道管の異常の改善、トイレ・フロア清掃を現場の要

求で勝ち取る事が出来た。

◆メセエリア外の障害復旧にも対応させられた。ルールが守られていない。若手社員にも話ながら取り組みを強化する。

◆エルダー出向先、TSSでは、短日数制度が導入されているが実施されていない。テクノでは、国労2名が短日数制勤務となった。

佐々木雄平さん 昨年7月1日加入 国労仲間入りの決意表明

郡山電力技術センターの佐々木雄平さん。昨年7月1日付で国労に加入した。加藤拓美さん「労働者としての考え、不安な新幹線勤務の環境を改善させたい」と言っている。現在、自分がかつて、どんな電力の国労が、今、環境を

郡山電力技術センターの佐々木雄平さん。昨年7月1日付で国労に加入した。加藤拓美さん「労働者としての考え、不安な新幹線勤務の環境を改善させたい」と言っている。現在、自分がかつて、どんな電力の国労が、今、環境を

郡山電力技術センターの佐々木雄平さん。昨年7月1日付で国労に加入した。加藤拓美さん「労働者としての考え、不安な新幹線勤務の環境を改善させたい」と言っている。現在、自分がかつて、どんな電力の国労が、今、環境を